

日本環境感染学会報告'11

第26回 日本環境感染学会総会

日本環境感染学会は、感染に関わる研究・論文報告・人材育成など幅広い活動を行っている学会で、毎年総会が開催され6000人を超す医療従事者の方が参加しています。

今回は 口頭発表 : 環境整備 12議題
シンポジウム : 病院設備について 1議題
サテライトレクチャー : ICNIにふさわしいメイクについて 1議題 について視聴しました。

【所感】

口頭発表：環境整備

○ATP検査

環境の清潔度の測定として、今回はATP検査に関わるものが多くありました。

ATP検査は海外の論文でも毎年いくつか発表されており、日本では調理施設の清潔度を測定するために多く使われているものです。

ATP検査とは、蛍が発光するときにATPと酵素が反応して光る原理を応用したものです。

ATPは細菌や食べ物の残渣などにもあり、ATP量が多いと強く光り、光りの強さによって清潔度を判断します。メリットは測定が簡単で2分後には測定結果がでることです。

ATP検査と微生物検査の結果には相関性はなく、医療現場での使用は限定的なものになっています。

また、1回の測定に200円必要となるので継続的に実施していくには費用的なことも考慮しなければなりません。したがって医療現場で、ATP検査が指標となることはないと思われま

す。ただし、教育的指標としては利用できるかと思えます。

○過酸化水素ミスト殺菌

過去に、ホルマリンの薫煙により病室を消毒していたことがありましたが、それとは異なることを強調していました。

過酸化水素を細かい霧状にして20~40分程度で充満させ、2~3時間かけて過酸化水素を回収した後に部屋が使用できる状態になります。過酸化水素は水と酸素に分解するため人的な害が比較的低い物質です。充満させるときには病室を密閉させなければならないため個別空調になっていない場合や、個別の室圧調整が難しい部屋での実施については課題があるとのことでした。

この方法は欧米では実施されるようになっていますが、日本ではまだ懐疑的な意見が多くあります。

○汚れの除去について

- ・トイレは1トイレ1手袋が主流になっていくのではないかな？
- ・血液等のタンパク汚れはアルコールと反応すると除去しづらくなる。
除去するなら、両性界面活性剤を使用した方が効率的に除去できる。
- ・トイレの便座のアルコール消毒は効果がある。

シンポジウム：病院設備について

感染症病室の空調と新築・改築・増築のときに感染対策チームから多い要望という内容でした。

感染対策チームから多い要望は、手洗い設備の充実ということでした。

実際にできあがると多くの問題があり、

- ・見た目を重視するためにペーパータオルやソープを置く場所がなかった。
- ・洗面台が浅すぎる
- ・配管を収納するために洗面台にもものおける水平面ができる

などです。

ここ5年程度の話ですから、まだまだ病院設備には改善されなければならないことが多いようです。

また、病院の建築費を抑えるようにとの国からの通告もあり、年々建築費が下がっているとのことでした。

総括では1990年代に患者サービスという言葉が登場し、療養環境を充実させてきたが、今後は医療を効率的に行える環境の整備を求める時代になってきたのではないかということでした。

サテライトレクチャー：ICNにふさわしいメイクについて

最近メイクアップレッスンを会社でしていることもあり参加しました。

- ①健康的
- ②安心感
- ③信頼

これらを与えることができるメイクについてでした。

- ①まゆげ まゆげはアーチ上のまゆで角ばっていないこと。
- ②アイカラー やさしい印象をあたえるピンク系で3色の濃淡の異なるピンクを使うと立体的になる。
- ③チーク 頬骨の辺りで、自然に見える色で
- ④口紅 リップライナーを使い、下唇は小さめにライン、上唇はわずかに大きく丸みを与えるようなラインを引く。そして口紅を塗る。落ちづらくするためには、一度ティッシュなどでおさえた後さらに口紅を塗る。さらに落ちづらくするためには、ファンデーションをティッシュにとり、それでおさえる。

看護師はマスクをするので、目元の印象が特に重要ということでした。

■医療シンポジウム■

話は医療の全般的なお話で、特に病院環境についてのお話ということではありませんでした。

【所感】

- ・医療ツーリズムは日本で法が改正され、外国人が日本で医療が受けやすくなったが大きな市場としての期待は薄い。
- ・日本の医療は海外への進出に出遅れている、ただし大学から病院までの総合的なシステムは海外へ輸出できる。
- ・IHN (Integrated Healthcare Network) とは人口数100万人の広域医療圏において、地域住民に医療サービスを提供するために必要な機能を網羅的に有する医療事業者のことで、IHNは収益性の高い(ただし非営利)医療事業者となっており、学ぶべきことが多くあるのではないか。

例として

セントラルヘルスケア

8病院 1911床 /10長期介護施設

総資産 32億ドル

職員数 2万円

2009年12月期の収入合計 30億ドル

- ・患者給食では清掃と同様の問題を抱えており、厳しい状態になっている。